

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら名古屋緑教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 47
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 10月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 11月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・音楽、運動、言語等の専門的な常勤職員が多くプログラム内容が幅広く組まれている。	・外出プログラムも多く設定しており、教室内だけでは学ぶことのできない経験ができるように心がけている。	・教室内での研修を多く設けて支援方法の指導、共有を図っていく
2	・個別指導では子どもの興味に沿った個別教材を作成している。	・子どものやりたい気持ちを尊重して自由に選択できるように最低限のルールのもと制限をなるべく無くしている。	・成長に合わせた教材研究を日々行っている。
3	・保護者とのコミュニケーションを重視しており、送迎などで話をする機会を多く設けている。	・公式ラインや送迎時には様子をお伝えして気軽に相談、共有ができるような関係作りを心掛けている。	・6カ月ごとの面談だけではなく子どもの状況、保護者の相談を加味して面談を都度行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・教室の構造上、強度行動障害の子どもには個別での部屋の用意ができず、刺激が強くなってしまう恐れがある。		・教室の構造を変えることは難しいが、分かりやすくパーテーションでの仕切りやマットでの区画など様々な工夫を行っていく。
2	・放課後等デイサービスの利用希望を多くいただいておりますが放課後等デイサービスにおいては新規の利用者をストップしている状態にある。それに伴い児童発達支援のご利用も年長児なお断りする形となりご不便をおかけしてしまっている。	・児童発達支援から放課後等デイサービスへご利用が変化する中で放課後等デイサービスのご利用者様は18歳までご利用期間が長く定員超過になってしまっている。	・当事業所の定員は限られており調整することは難しいが、新店舗の増設や他事業所や相談支援員との連携を強めご利用者様に不利益のないようにしていく。
3			